

夏の夜に舞う光の妖精

『杭瀬川のゲンジボタル』



- 大垣市の西部を流れる杭瀬川はゲンジボタルが生息し、市の天然記念物の指定を受けています。杭瀬川のホタルは今から300有余年前、初代大垣藩主戸田氏鉄公が“天の川ホタル”と名付け永く保護されたことがあり、昭和初期にはホタル観光船が杭瀬川に浮かぶなど多くの人々に親しまれてきました。

このように親しまれてきたホタルも、川の汚染と乱獲などにより一時はほとんどその姿を消してしまいましたが、自然とホタルを愛する熱心な人々の努力により、ホタルの生息環境の回復が図られ、その結果、今では5月下旬から6月中旬頃にかけて、その美しい姿を見ることができるようになりました。



- 今回、地元自治会の方からお誘いを受けましたので、6月8日（日）に、ゲンジボタルが幻想的に舞う風景を楽しんできました。当日は、風がなく絶好の鑑賞日です。辺りが暗くなり始めた19時半頃から、お爺ちゃん、お婆ちゃんたちに手を引かれながら訪れた近所のちびっ子たちや老夫婦など約50名ぐらいの方が、飛び交うゲンジボタルの光に歓声を上げ、また、写真愛好家はその美しい姿をカメラに収めていました。杭瀬川の水辺における賑わいのある華やかな一幕を見ることができ、初夏の夜空を水辺のホタルが美しく演出する光景は、まさに日本の原風景を感じるものでした。



みなみいちほしちょう

大垣市南市橋町（杭瀬川中島橋付近）



幻想的な光跡 ‘ホタル乱舞’



写真：大垣市役所提供